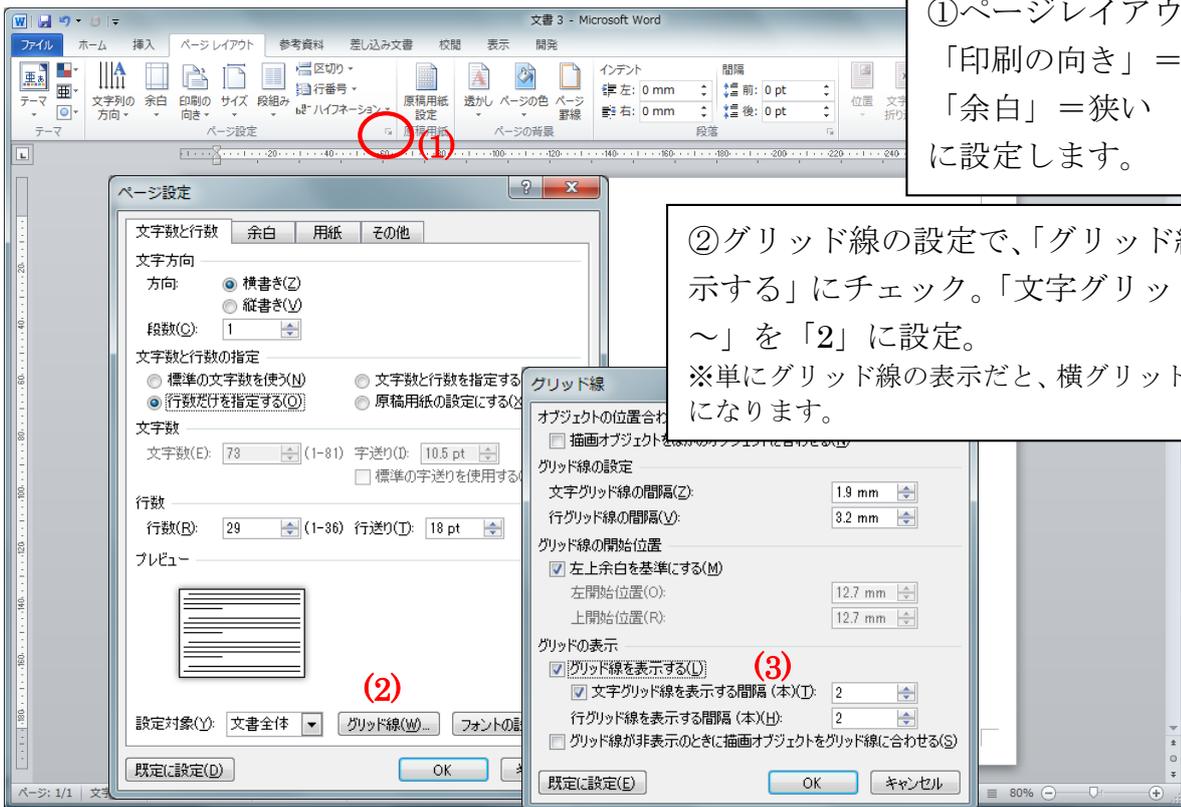


トーナメント表の作成

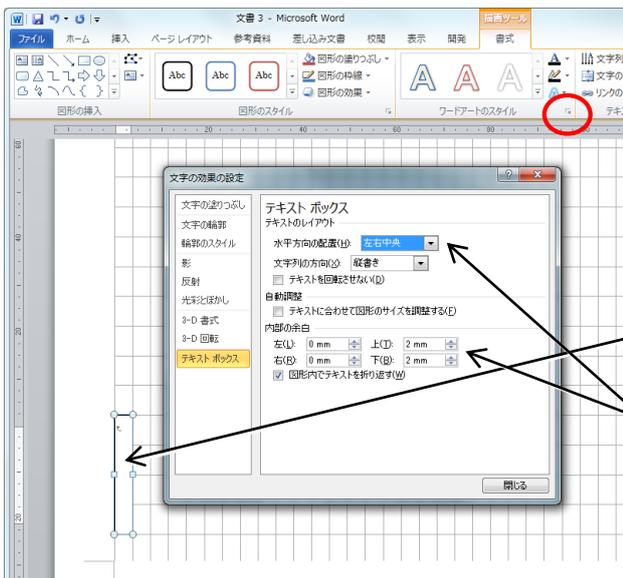
夏の全国高校野球の、トーナメント表を作ってみます。
 8校・16校…というように、2ⁿ校の場合は、パターンのコピーが簡単。しかしそれ以外だと、少々めんどろ。また、49校もあると、いくつかのブロックに分けるほうが、作業しやすい。今回は、あえてめんどろな、ピラミッド型のトーナメント表にしてみます。
 その他、タイトルには、ワード 2010 でできなくなった、「ワードアートのテクスチャ塗りつぶし」を入れてみます。

1. 49校のトーナメント表



①ページレイアウトを、「印刷の向き」=横、「余白」=狭いに設定します。

②グリッド線の設定で、「グリッド線を表示する」にチェック。「文字グリッド線を～」を「2」に設定。
 ※単にグリッド線の表示だと、横グリッド線のみになります。



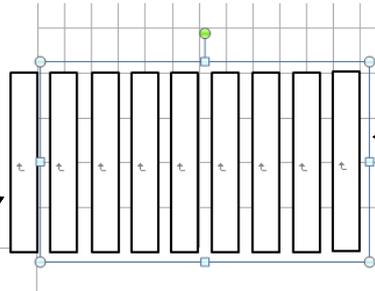
③縦グリッド線を数えて、テキストボックスの適正な大きさを計算します。
 ※標準フォントのサイズが 10.5pt の場合、49 校を並べるには、縦 4 マス×横 1 マス程度。

④③で計算した、縦書きテキストボックスを挿入。

⑤テキストボックスはかなり小さいため、「内部の余白」左右は 0mm に。「水平方向の配置」は「左右中央」。フォントサイズは、この例では 7pt。

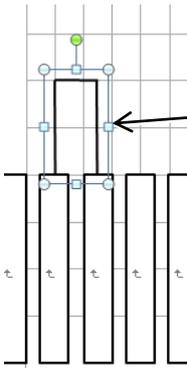
光
星
学
院

⑥実際に学校名を入れて、「均等割り付け」にし、表示状況を確認します。

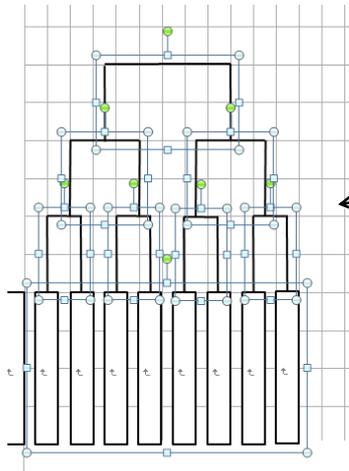


※最初の1個は、そのまま。

⑦テキストボックスを8個コピーし、グループ化。
※なぜか、上下位置がきれいに揃わないことがあります。グループ化の前に、すべてのテキストボックスを選択して、「上揃え」しておきましょう。



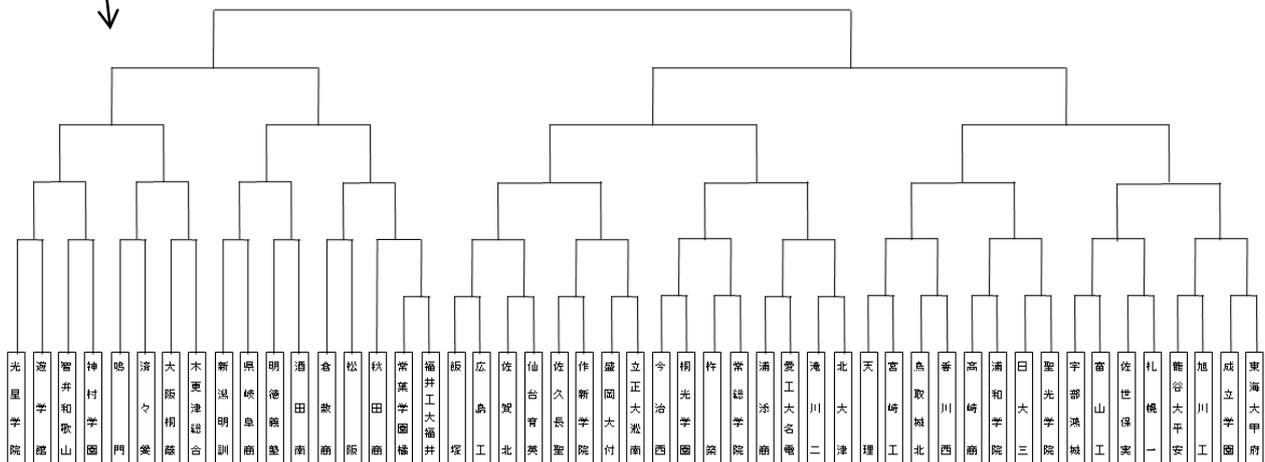
⑧3本の直線で、2つのテキストボックスの対戦を作ります。完成したら、グループ化。



⑨⑧をコピーして、1回戦を完成。2回戦、3回戦は⑧をコピー→グループ解除して、長さを修正します。8校分のトーナメントが完成したら、すべてをグループ化。

※1回線シード校を作らないと、トーナメントが完成しません。一部、グループ化を解除して、調整します。

⑩⑨を5つコピーすれば、全部で49校になります。4回戦以降をつなげて、できあがり。学校名は、ネットで調べて入力しましょう。

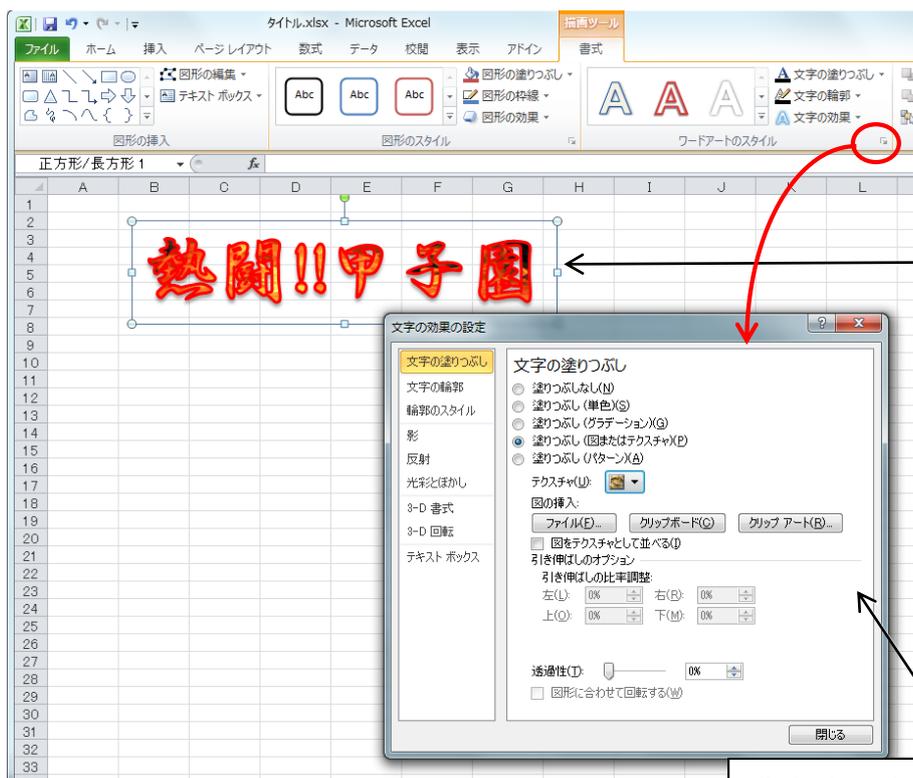


2. 画像で塗りつぶしたワードアート



①好みのワードアートで、タイトルを挿入して、できあがり。
※年数は、作成したトーナメント表の年に合わせてください。

「熱闘!!甲子園」のほうを、炎の塗りつぶしにしてみましょう。ワード2010にはその機能がないので、せっかく作成したワードアートですが、削除します。



②エクセルを起動し、適当なスタイルのワードアートで、タイトルを作成。

③書式設定で、「塗りつぶし (図またはテキストチャ)」を選択。
「クリップアート」から、「炎」で検索して、適当な写真を選びます。

④完成したら、コピー→ワードへ戻って、「図として貼り付け」。

次ページは、完成イメージです。

熱闘!!甲子園

2012年夏の全国高校野球トーナメント表

